

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	塩谷 謙二

開催日時	令和2年 2月 3日(月) 10:00~11:45
開催場所	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室
出席者(委員)	村川治彦 委員(会長)、澁谷栄作 委員、余部信也 委員 所嵩令子 委員、杉本美徳 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、キャリア教育部主任、教務部主任 生活指導部主任、研究・支援部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	平成31年度 学校経営計画及び評価、令和2年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)

- 1 開会挨拶
- 2 令和元年度 取り組み報告 ①進路状況について ②学校教育自己診断について
- 3 協議
- ①平成31年度学校経営計画 総括について ②令和2年度学校経営計画について ③魅力ある聴覚高等支援学校に向けて
- 4 保護者からの意見書について
- 5 閉会挨拶
- 6 その他 ①令和2年度 学校運営協議会委員について ②令和2年度 学校運営協議会日程について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 2 令和元年度 取り組み報告
 - ①進路状況について【キャリア教育部主任】
卒業予定者の進路の報告。今後、進学予定者講習会を実施予定。
 - ②学校教育自己診断について【首席】
集計結果の報告についての主な意見
・数値だけでは評価の理由まではわからないので、ヒヤリング等で評価の理由を聞くとよい。
・「学校に行くのが楽しい」の項目が保護者は上昇し、生徒は下降した点について、将来振り返って大切だったと思える教育は、継続して行うべき。しかし、楽しくないと続かないので、学業以外でも認められていると感じる瞬間を作るとよい。
・中学部の生徒が、だいせんの生徒を見て感じるイメージや、本科生が専攻科生を見て感じるイメージを想像してはどうか。楽しくないと思う理由は、大人の想像とは別の所にあるように感じる。
- 3 協議
 - ①平成31年度学校経営計画 総括について
「生徒、保護者の思いに寄り添う学校づくり」についての主な意見
・仁徳陵が世界遺産になったので、清掃活動等を通して地域との関わりを深めてもらいたい。
・仁徳陵について学ぶ取組を、図書室の利用とつなげるとよい。また、観光に来た外国人との交流として手話通訳や手話講座を生徒が行うなど、社会に出てからのコミュニケーションの基盤作りができる。
ユニバーサルな教育環境の実現とより質の高い教育の提供についての主な意見
・朝ドリルやダイザップによる筆談力指導は将来のために必要。評価が低いのは生徒のやる気によるので、励ますことが大切。また、手話講習会も、聴覚障がい者に教わる機会が大切なので、今後も続けてほしい。
・聴覚障がい者同士でも、出身学校が違うと通じないこともある。手話は基本的なコミュニケーション力の向上につながるので、正しい手話を学ぶ機会を作っていくことが、今後の課題。
平成31年度学校経営計画の総括について承認
 - ②令和2年度 学校経営計画について【校長】
学校・保護者・地域が一丸となった教育の推進についての主な意見
・中期的目標の文言に「同窓会」も含めてほしい。
→「学校・保護者・地域・同窓会が一丸となった教育の推進」と変更。
令和2年度学校経営計画について承認
 - ③魅力ある聴覚高等支援学校に向けて【首席】
普通科コースの新設、名称変更、パンフレットとホームページの一新
- 4 保護者からの意見書なし【事務局】
- 6 その他
 - ①令和2年度 学校運営協議会委員について
委員の継続を依頼。
 - ②令和2年度 学校運営協議会日程について
第1回 6/4(木)、第2回 11/5(木)、第3回 2/4(木) 10:00~11:45に開催。

次回の会議日程

日時	令和2年 6月 4日(火) 10:00~
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室